



Facebook

LINE

藤村まさたか NEWS

藤村まさたかの2021年冬の府議会レポート



「脱炭素社会の実現」「新型コロナ対策」で議論

環境農林常任委員会で質疑

- ・国の新たな地球温暖化対策計画(目標=2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減)を受け、万博開催都市である府の取組みを質しました。
- ・質疑では①「温暖化防止条例」の改正。②「ゼロエミッション車購入補助制度」等の脱炭素化への支援制度の創設。③万博に向け脱炭素化を加速するシンボリックな取組みの創出等を提案しました。

公明党を代表し本会議で討論

- ・本格的な冬の到来や新たな変異株等により懸念される、「感染第6波」への対策等を知事に提案。
- ・特に新型コロナワクチンの「3回目接種」を円滑に進めるために、府として「大規模接種会場」の再開設を知事に求めました。
- ・後日、吉村知事は府として大規模接種会場を3ヶ所程度設置することを正式に表明しました。

皆様の声から実現! 数字でわかる 藤村まさたかの実績報告

安まちアプリ

ダウンロード数
(R3年3月~11月)

127,000回

府内の犯罪発生状況等を発信するスマートフォンアプリ「安まちアプリ」が3月から配信を開始。藤村は平成28年以来、府警に対して防犯アプリの導入を訴えていました。

LINEいじめ・教育相談

相談件数
(R2年4月~R3年11月)

3,366件

10代の主要なコミュニケーションツールである「LINE」を活用したいじめ相談を平成29年に提案。コロナ禍で困難を抱える子どもたちからも多くの相談が寄せられています。

不妊・不育専門相談

相談・カウンセリング件数
(R1年12月~R3年10月)

966件

「おおさか不妊専門相談センター(ドーンセンター内)」の充実を訴え、令和元年12月から相談体制が拡充されました。専門相談員が不妊・不育のお悩みにお答えします。

大阪府コロナワクチン大規模接種センター

接種回数(1・2回目合計)
(R3年6月~R3年12月3日)

384,865回

新型コロナワクチン接種を加速すべく、4月に大規模接種会場の設置を吉村知事に緊急要望を実施。6月、マイドームおおさかに府独自の大規模接種会場が設置されました。

新型コロナ後遺症相談

相談件数
(R3年7月~R3年11月)

3,341件

後遺症で苦しむ方の切実な声を受け、府に相談窓口の設置を提案。7月8日より新型コロナ受診相談センターで電話相談や後遺症対応医療機関の紹介が開始されました。

新型コロナこころのホットライン

LINE相談2,602件(R2年5月~R3年11月)
電話相談5,339件(R2年10月~R3年10月)

7,941件

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う不安やストレスから心の健康を守るために、LINEとフリーダイヤルでの相談窓口を開設。令和2年2月議会での提案が実現しました。

新型コロナ緊急雇用対策(雇用促進支援金)

求人数 441,210件、採用数 20,090件
雇用促進支援金 12,042件
(R2年10月~R3年11月)

44・2・1.2万件

民間人材サービス事業者と特設サイト「にであう」を開設。求人開拓とともに、新規雇用した事業者への支援金制度(最大25万円)を創設。好評につき期間延長を求めた結果、今年度末までの延長が決定。

生理の貧困

生理用品の無償提供数
(R3年9月~R3年10月)

17,000枚

令和3年2月議会で防災備蓄品の活用し、公共施設や府立学校で生理用品の無償提供を知事に提案。府はドーンセンターに約3,000枚、全府立学校に約14,000枚の無償提供が実施されました。

小児救急電話相談

相談件数
(R2年10月~R3年10月)

60,307件

コロナ禍での子どもの受診に不安を抱く声に寄り添うべく、令和2年10月から相談時間を1時間前倒しし、19時~翌8時に拡充。1年あまりで相談が6万件超に。